

JEITA

電子情報技術産業協会規格

Standard of Japan Electronics and Information Technology Industries Association

JEITA IT-4007

音声認識応用システムのための 音声コマンド設計ガイドライン

**The Guidelines for Design of Voice Commands
in Application Systems with Speech Recognition**

2012年7月制定

作 成

音声入出力方式標準化専門委員会

Speech Input/Output Systems Standardization Subcommittee

発 行

一般社団法人 電子情報技術産業協会

Japan Electronics and Information Technology Industries Association

まえがき

本ガイドラインは、音声認識技術の利用拡大を図ることを目的として、音声認識応用システムの開発において、ユーザが理解しやすく、学習しやすい音声認識コマンドを設計・評価する指針を示すものである。本ガイドラインは、一般社団法人 電子情報技術産業協会 音声入出力方式標準化専門委員会 音声認識グループにより作成された。

電子情報技術産業協会規格

音声認識応用システムのための 音声コマンド設計ガイドライン

The Guidelines for Design of Voice Commands in Application Systems with Speech Recognition

1 適用範囲

本ガイドラインは、音声認識応用システムの開発において、音声コマンドの設計並びに評価時に行わなければならない検証・評価項目について示すものである。

音声コマンドの設計では、そのコマンドがユーザにとり理解・学習が容易で、音声認識応用システムのユーザビリティの観点から有効なコマンドでなければならない。本ガイドラインは、このユーザ視点の音声認識応用システムの性能に係る、音声コマンドの設計並びに評価時の検証項目について示し、その指針を示すものである。

音声認識応用システムのユーザビリティを決定する要因としては、音声コマンドの設計以外にも、

- 1) 音声コマンドが利用可能なシステムの状況
- 2) 音声コマンドを発声する時点でシステムがユーザに提供する情報
- 3) 音声以外のインタフェース設計、また、その中で用いられている用語
- 4) マニュアルやオンラインのヘルプによって提供する音声インタフェース、音声コマンドに関する説明
- 5) 音声認識そのものの認識性能、応答性能

などがある。しかし、本ガイドラインでは、これらについては直接扱わず、音声コマンドの設計との関連事項のみを示す。

2 引用規格並びに文書

一般社団法人 電子情報技術産業協会「音声認識エンジン性能評価方法のガイドライン」(JEITA IT-4005)

3 用語及び定義

音声認識応用システムの一般的構成を示す。

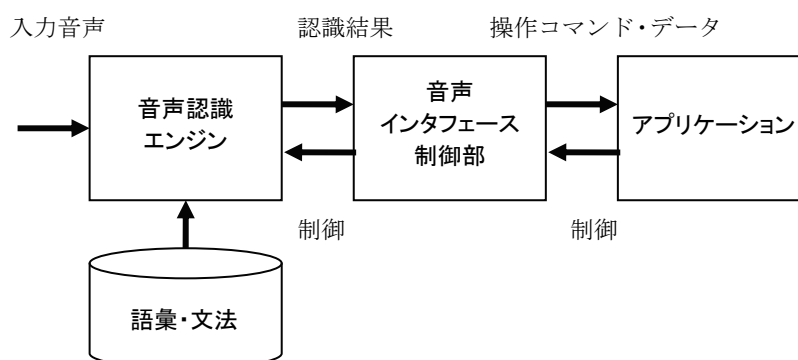


図 3-1—音声認識応用システムの一般的構成